

志望自治体への最短コース!?

自治体の教師塾に注目!

自治体の教育委員会が主催する研修会「教師塾」は、教員志望者の中でも、意欲のある優秀な人材を青田刈りするための施策だ。どうしても行きたい志望自治体があるなら、これを利用しない手はない!

まとめ/編集部

教師塾へ行く3大メリット

1 教育委員会に近いところで学べる

採用側である教育委員会が主催し、学校現場での実践に基づいた特別な講義を行ってくれる。講師は教育委員会がセレクトした現職教員や教育委員会事務局の職員だ。

「こんな教員になってほしい」というモデルを示した講義だから、採用側の想いがとてもよくわかるはずだ。学校現場での実践もあるのも嬉しい。

2 さまざまなタイプの受験者と学べる

自治体によって人数は大きく異なるものの、集められたのは教員を目指すライバルかつ仲間たち。入塾に試験を課する場合もあるが、それをクリアしたのだからみな意

識は高い。年齢層も大学院生、常勤講師、非常勤講師、もう学校に勤務する若手教員までいるケースも。現場の話聞くのも大いに刺激になるだろう。

3 学習スタートがいやでも早くなる

開始時期は3年生時の春スタートと秋スタートが多い。次年度夏の試験を考えれば、秋スタートのほうがリードタイムはあるといっていだろう。運営者である教育委

員会の目に晒されて、意識の高いメンバーに囲まれていれば、やる気にならないはずがない! 当然、合格に近くなるというもの。